

令和3年度

## 岩倉南小学校 学校経営方針

### 岩倉南小学校教育目標

自ら学び 心豊かに たくましく生きる子の育成

～笑顔 かがやく 岩倉南の子～

○岩倉南のど真ん中！教職員が共通して感じる児童の課題です。学校は児童と指導者がともに「話し合い、考え合い、学び合い、分かち合う」ところであり、一方通行の「教えるところ」・「教わる場所」ではありません。また、指導者が持っている「答え」に導く授業ではなく、児童自らが問いを設定しその解決のために学ぶ「主体的・対話的で深い学びの実現」をめざす言葉です。

○「豊かさ」とは何か、どのように「生きるか」、一人一人の「生き方」につながる「問い」を探究することは、自らの学びや生き方を振り返り「これから」を考え、「希望」「夢」につながります。また、「豊かな心」は、道徳の四つの視点で表すことができ、道徳教育の充実が心豊かな児童を育むと考えます。

○「たくましく」は、健康であってこそです。小学校では心と体が著しく成長します。子どもたちの命を守りきるため、私たちの使命は大きいです。コロナ禍の中で、感染症対策にも気をつけながら、子どもたちの健やかな成長をサポートします。

#### めざす子ども像

1. 思いやりのある子（徳） 2. 自ら進んで学ぶ子（知） 3. 体を大切にする子（体）

#### 育成をめざす資質・能力

「自己指導能力」⇒その時、その場で、どのような行動が適切か自分で考え、決めて、実行する能力  
⇒正しい判断力と積極的意欲、やる気を育てる

#### ＜みなみっ子のめあて＞

・よく聞き、考える  
・考えや思いを分かりやすく伝える  
・当たり前のことを当たり前にする

⇒ **生きる力**

#### めざす学校像

○子どもが毎日楽しく通える学校 ～「期待の登校」「満足の下校」～

#### めざす教職員像

○子ども一人一人を大切にする教職員

○子どもの手本となる教職員

凡事徹底「気負わず、飾らず、普段着」 厳しいけれど怖くない、優しいけれど甘くない

・教育とは「そのままにしておかない」今よりも「さらに良くしていくこと」

・できることをさせるのではなく、できないことをさせる(できるようにする)のが教育

## ☆基本方針

変化の激しいこれからの社会を生きる子どもたち。そんな子どもたちが、豊かに、また、たくましく生き抜いていける「生きる力」の育成をめざす。そのために、今年も、学校教育の基本となる豊かな心（徳）・確かな学力（知）・健やかな体（体）の調和のとれた育成に向けて、それぞれ目標を掲げ、具現化に努める。

### <教育目標実現に向けた取組の重点>（10カ条）

#### 1. 思いやりのある子 豊かな心（徳）

① 学校生活における規範意識の向上を目指して、生徒指導の徹底を図る。

- ・人と人のつながりを大切にする。…あいさつの徹底

（あいてを見て、いつも、さきに、つづけて）

- ・いじめ防止等基本方針に基づき、「見逃しのない観察」「手遅れのない対応」「心の通った指導」を進め、「いじめは絶対に許されない人権侵害である」ことを理解させる。

#### 「自他を大切にする態度」の育成

- ・学校のきまり、約束、時間、学習ルールを守る。…児童会活動の充実
- ・生徒指導の三機能「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係」を育成する→授業の中で＜子どもに出番を与える＞

- ・スクールカウンセラーとの連携、クラスマネジメントシートの活用

未然に防ぐ

② 人権教育の充実により、支え合い高まり合う集団づくりを行う。

- ・教師が一人一人の良さを的確に『見抜き』それを『認め』『ほめ』『伸ばす』。
- ・ノートや作品へのコメント記入→信頼関係を構築。「心の居場所」づくり
- ・たてわり活動での交流、「みんなの日」の充実、「あたりまえ大賞」の推進
- ・障害についての理解と認識を深め、互いを尊重し、共に成長し合う教育の充実

\*ユニバーサルデザイン

#### 「公共の精神に基づく態度」の育成

③ 「道徳性を養う 道徳教育」の実践を推進することにより、ともによりよく生きようとする態度を育てる。… いじめの防止につながるという意識をもって取り組む

- ・主として自分自身に関すること、主として他の人との関わりに関することの視点で。
- ・『豊かな心』とは①自分自身を真剣に見つめる心②他の人をやさしく思いやる心③美しいものや気高いものに素直に感動する心④世のため人のため、公共のために進んで尽くそうとする開かれた心・・・いわゆる四つの視点
- ・意図的・計画的な指導 …公共心や公德心、生命を尊重する心、感謝する心の育成
- ・道徳的価値の自覚を深める指導の充実 …児童自ら高まろうとする児童会活動の充実

④ 環境を整え、豊かな心情を育む。

- ・気持ちのよいあいさつ、正しい言葉遣い、ふわふわ言葉とちくちく言葉、温かい言葉かけ、思いや感動を言葉で表現する活動の充実、栽培活動の推進

**「United by Emotion」**  
(感動で一つに)

**社会性の育成**

## 2. 自らすすんで学ぶ子 **確かな学力（知）**

⑤ 児童の学力向上をめざして、授業力向上を図る。

- 一人一人の子どもの学力を最大限に伸ばす指導の充実
- 校内研究を核として、各教科・領域における言語活動の充実を図る。
  - ・教科の枠を超えて→「主体的・対話的で深い学び」「思考の見取り」
  - ・子ども主体の授業へ→子どもだけの学習時間の保障（子ども同士で教え合う。子どもに任せる時間）＊教師が話す時間を徹底的に減らす。

研究主題

### 「自ら考え判断し、行動できる子」の育成 ～自己指導能力の育成を通して～

- ・「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係」を育成する  
→授業の中で＜子どもに出番を与える＞
- ・学びの質を高めていく→習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力を身に付けることができるようにする。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現→単元等のまとまりを見通した学び  
各教科の特質に応じた「見方・考え方」の理解
- ・学びの約束やルールを大切にする。→意欲的に学ぶ学習集団づくり
- ・「わかる・できる喜びと学ぶ楽しさ」を体感できる授業をめざす。  
→ 個に応じた授業の工夫，指導方法や指導体制の工夫改善
- ・どの教科においても，毎時間必ず「学習課題（めあて・目標）」を提示し，それに応じた「まとめ」と「振り返り」を行う。

◎LD 等通級指導教室の活用

一人一人の子どもの大切に！

ねらいにぶれず

**学習意欲を高める授業を通して、自ら学びに向かう力を育む**

## GIGA スクール構想の実現

学習イメージ ～例えば、こんなことに使います～

調べ学習  
インターネットで調べ学習



写真・動画撮影  
観察、実験等の写真を  
撮影、振り返り



みんなの考えを共有  
比較して新しい気づきへ



グループで意見交流  
シンキングツールで考えを整理



自分の考えをまとめて  
プレゼンテーション



デジタルドリル活用  
2学期から全市で  
活用予定



これから全市・全校で活用へ ～ICTを手段として活用し、学びの充実へ～



| ステップ                        | 時期       | 活用例<br>※学校の状況による                                                                        |
|-----------------------------|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------|
| ステップ1:活用準備期<br>GIGA端末に慣れる   | 令和3年2～5月 | ログイン、写真・動画撮影体験、文字入力・操作体験、Web検索等に慣れる、文字入力体験 等                                            |
| ステップ2:活用推進期<br>GIGA端末の活用を推進 | 令和3年6～8月 | GIGA端末を活用した調べ学習や協同学習<br>文字入力練習、デジタルドリル活用等                                               |
| ステップ3:本格活用期<br>GIGA端末を本格活用  | 令和3年9月～  | 授業でGIGA端末本格活用、デジタルドリル活用<br>※児童生徒の状況に応じ、原則小5以上を対象に、<br>週末や長期休業期間等にGIGA端末を家庭に持ち帰ることもあります。 |

- ・多様な手段に子どもたちを触れさせる。
- ・教師の役割は・・・教える→学びを支える(ファシリテート)
- ・効果的な活用方法を共有

- 協力指導体制の充実（3～6年、担任で教科振り分け、音楽、理科など）  
→ 教師の専門性を生かし、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を図る。
- 総合的な学習の時間の充実（学校運営協議会企画推進委員会の活用）
  - ・岩倉に住み、岩倉で学ぶ強みを生かせる子ども → 豊かな環境（岩倉川・宝ヶ池公園）  
伝統・文化（岩倉史謡・岩倉の歴史）
  - ・社会的・職業的自立を果たす子ども → 人とともに社会を生きる力、  
*自分を知り、律する力*、社会に貢献する力  
(2分の1成人式、スチューデントシティ学習)
  - ・人権文化の担い手となる子ども → 環境問題・共生社会・多様性と調和  
↓  
環境・福祉・人権・生き方探究・伝統文化を重点的に取り組む（系統性）  
情報は、学び方と発信の仕方について学年でつけたたい力を明確にして指導

探求の過程を重視する。 (生き方探求パスポート)

- 実践的な英語力の育成（５・６年生の外国語科・３・４年生の外国語活動）
  - ・言語活動の充実→・１・２年１５Ｈ　３・４年３５Ｈ　５・６年７０Ｈ
  - ・英語に慣れ親しむ環境づくり（イングリッシュシャワー）
  - ・低学年での英語を使ったチャンツやゲーム
- 道徳性を高める道徳教育の充実を図る
  - ・道徳教育全体計画の活用。
  - ・「特別の教科 道徳」教科としての意識→３５時間の積み重ね。（えがおファイル）

⑥ 図書館活用教育の推進により、読書活動の充実を図る。

- ・朝読書、全校一斉読書などの取組の充実
- ・休み時間の図書室開放 … 行列のできる図書室（学習・情報センター、読書センターとしての活性化、調べ学習の充実）
- ・岩倉図書館との連携 … ブックトーク、関連図書の貸出
- ・PTA 図書ボランティアの協力 … 「読み聞かせの会」、「ブックポケット」

⑦ 家庭での自学自習の習慣をつける

- ・自主学习ノートの活用
- ・家庭との連携→「自学自習のすすめ」

**主体性の育成**

**「Let's try it!」（やってみよう！）**

**健やかな体**

⑧ 安心・安全第一の学校づくりをめざした取組を推進する。

- ・防ぐことのできる事故をなくすため、さまざまな危険から自分を守るための知識と判断力が身に付くよう安全教育の取組を推進する。
- ・学校教育全体を通して、防災教育を展開するとともに、地域防災の拠点としての学校の在り方や地域コミュニティの形成について考える。
- ・環境整備 →安全点検、素早い対応、整理整頓、清掃活動の充実

**未然に防ぐ**

⑨ 運動やスポーツの実践を通して、楽しさや喜び、達成感・成就感を味わう。

- ・体育学習の充実 → 体を動かすことが、情緒面や知的な発達を促進し、コミュニケーション能力や論理的思考力を育む、
- ・学習したことを実生活に生かす→遊びの充実
- ・運動能力、体力の向上を図る。→遊び場の工夫（ジャンプアッププログラム継承）

⑩ 保健教育、食に関する指導の充実により、望ましい生活習慣や食習慣の確立と健やかな心と体の育成を図る。（養護教諭・栄養教諭との連携）

- ・自分の健康を自分で維持したり、自分の身を自分で守ったりする意識・態度の育成 … むし歯の予防と治療、命の大切さを学ぶ学習
- ・食物アレルギーのある児童の学校生活を安心安全なものにするため、保護者との連携を密にしながら、校内組織の整備を進める。→食物アレルギー対応委員会

**\*感染予防対策に努め、新しい生活様式の定着を図る「ウイズコロナ」**

**→毎日の健康観察票確認、手洗い、マスク、換気、ソーシャルディスタンスの徹底**